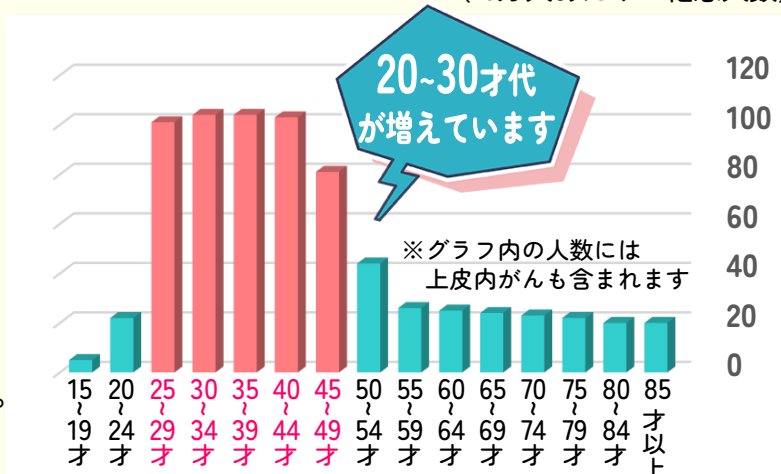


あなたをがんから守るワクチンがあります！

若い女性に子宮頸がんが増えています！

(10万人あたりの罹患人数)

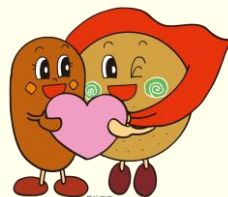
- 毎年約1万人がこのがんにかかり、約3000人が亡くなり、約1000人が妊娠できなくなります。
- この原因の95%以上がHPV（ヒトパピローマウイルス）です。
- 8割以上の人が一度は感染するありふれたウイルスで、自然に排除されることが多いですが、子宮の入り口に感染するとがんになることがあります。
- 女性では乳がんの次に多いがんです。



なぜ子宮頸がんワクチンを男子が打つの？

このワクチンは中咽頭がん（アメリカでは子宮頸がんよりも多く国内でも増加傾向です）や陰茎・肛門がんなど男性におこるがんの予防になると、将来の大切なパートナーを病気から守ることができます。

そのため世界では、男女接種が一般的でカナダ・オーストラリア・イギリスなど欧米の先進国での男子の接種率は7割を超えています。



ワクチンのメリット・デメリット

17才までにワクチンを3回打つと子宮頸がんを70~90%予防できます

メリット

副反応として接種直後の失神・ふらつき、注射部位の痛み・腫れがみられることがある

ワクチンの安全性

広い範囲で痛みや体が動かしにくくなる場合（複合性局所疼痛症候群）がありますが、ワクチン接種をしていない人でも認められ、ワクチンとの因果関係は不明です。世界保健機構（WHO）はワクチンの有効性・安全性を認めており、日本でも副反応が特別に起こりやすいわけではないことが認められています。

ワクチンを良く知って接種しましょう！

- 小学6年生～高校1年生の女子は無料です。男子は市より1回の接種あたり最大16,650円の助成が受けられます。
- 接種の意義を本人・保護者ともにご理解いただくことが大切です。かかりつけ医とよく相談の上、接種されることをお勧めします。
- 副反応として重い症状が出た場合の医療体制も整っています（自治医大・埼玉医大）